

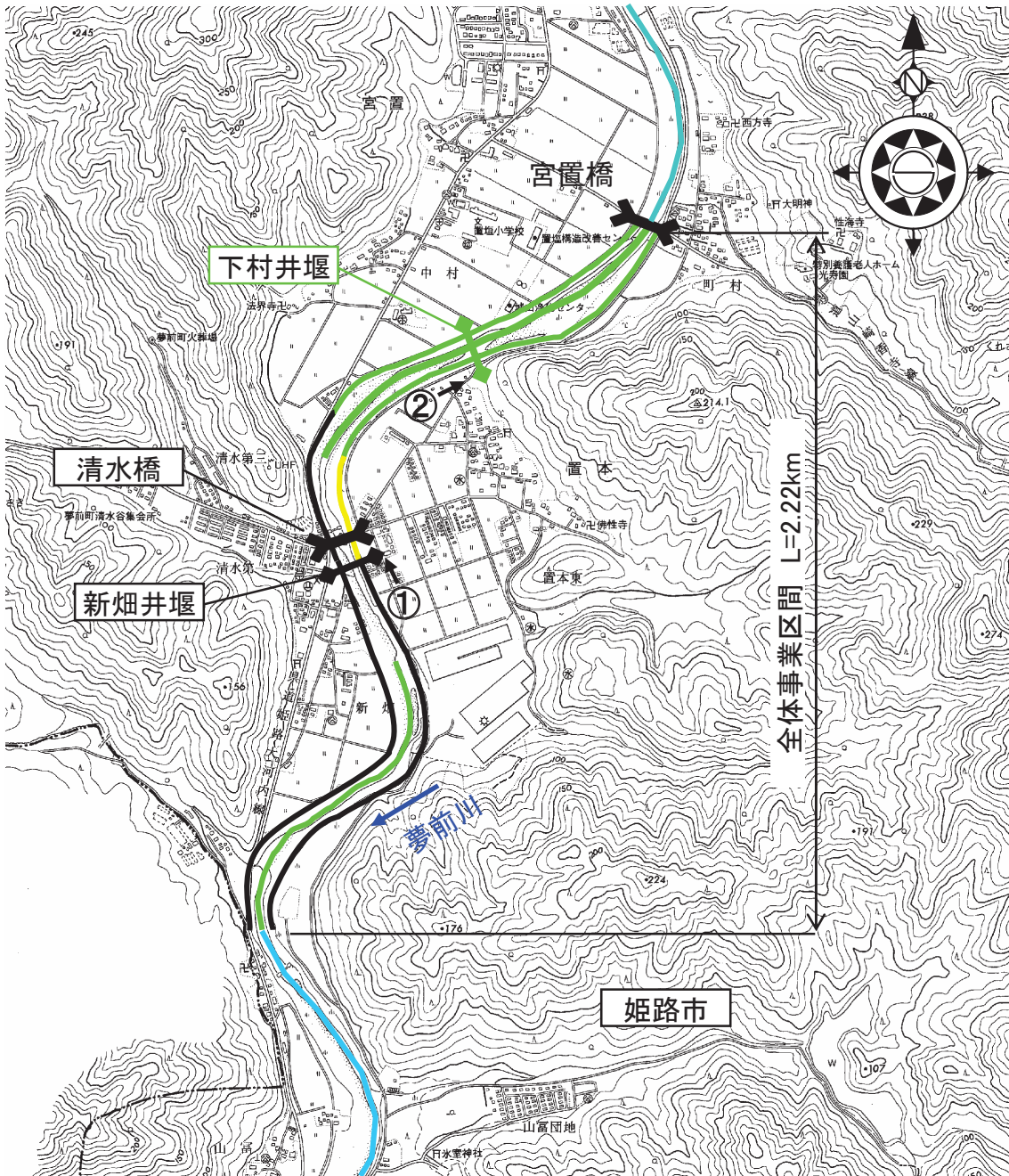
中間報告

3. 夢前川水系 河川整備計画

河川整備計画策定報告（中間）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課 松本正利 (治水係長 高橋篤志)	内 線	4408 (4437)	
事業種目	河川事業	新規評価年度	—		現計画	前回評価時点
事業名	二級河川夢前川水系 夢前川 総合流域防災事業	事業採択年度	H1	総事業費	26億円	26億円
		着工年度	H1	内用地補償費	4億円	4億円
		再評価年度	H10	完成予定年度	H32	H32
			H15 H20	進捗率 (内用補進捗率)	75% (100%)	72% (100%)
事業区間	姫路市夢前町置本～宮置					
所在地	姫路市			残事業費	6億円	7億円
事業の目的				事業内容		
当該地区に甚大な浸水被害(浸水面積35ha、浸水家屋148戸)をもたらした昭和51年9月台風17号と同程度の洪水を安全に流下させるべく河川改修を実施し、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保するものである。				計画流量	現計画 前回から 変更なし	前回 (H20)
				整備延長 主要工種		720m ³ /s (1/20) (書写橋地点) 2,220m 築堤、掘削、護岸、 橋梁1橋、井堰2基
				〔負担割合：国1/2、県1/2〕		
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	①流域内には鉄道、国道等の重要交通網があり、今後、市街化が進む可能性が高く、浸水を防止する必要性が高まっている。 ②事業の対象区間外の未整備箇所において平成24年6月台風第4号により浸水面積4ha、浸水家屋23戸の浸水被害が発生しており、浸水箇所を含めた河川改修の必要性が生じている。 【前回評価時点からの事業計画の変更概要】 変更なし					
進捗状況	①下流から改修を進め、全体約2.2kmの内約1.3kmが概成しており、橋梁1橋(清水橋)、井堰1基(新畑井堰)の改築が完了。 ②残事業は河床掘削、上流部約0.9kmの護岸整備及び井堰1基(下村井堰)の改築となっている。					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び 対応方針 (前回再評価)	【審査会意見】 継続妥当			【対応方針】		
(1)必要性	①過去から浸水被害が生じており、昭和51年9月洪水では浸水面積35ha、浸水戸数148戸の浸水被害が発生している。 ②昭和51年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標に河川改修を実施し、再度災害の防止を図るため、継続的な整備を実施する必要がある。					
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	①費用便益比B/C=2.1 ②昭和51年9月洪水と同規模の洪水が発生しても河道内で安全に流下可能とし、沿川の浸水被害を解消できる。					
(3)環境適合性	①横断工作物については、魚道などを整備し上下流の連続性を確保する。 ②護岸整備については、植生ブロックによる植生の早期回復を行い生態系に配慮する。					
(4)優先性	①流下能力の低い区間が残っており、沿川は人家があることから事業の優先性は高い。					
河川整備計画 の策定状況	【流域懇談会等の開催状況】 ①平成21年9月から合計4回の夢前川水系河川整備計画委員会を開催して当該計画を位置づけた河川整備計画(案)を作成しており、策定に向けて国と同意協議を行っている。 【流域懇談会等の主な意見】 ①河川改修にあたり、水利用状況を十分調査した上で実施すべきである。 ②井堰が多く、高低差が大きいため、魚道などの整備を進めるべきである。 ③平坦な河床では夏場に水の流れがなくなるので、ある程度、水が流れるように配慮すべきである。					
対応方針	早期に河川整備計画を策定することとし、策定までの間は現計画に基づき事業を継続実施する。					

総合流域防災事業（二）夢前川水系 夢前川



凡例	
	: 橋梁
	: 井堰
※図中の河川の3本線は整備状況を示す。	
	右岸の築堤、護岸の整備状況
	河床掘削の整備状況
	左岸の築堤、護岸の整備状況

整備状況	
	: 平成20年度まで
	: 平成21～平成24年度まで
	: 平成25年度
	: 平成26年度以降

総合流域防災事業（二）夢前川水系 夢前川

整備済区間(新畑井堰、清水橋)

①

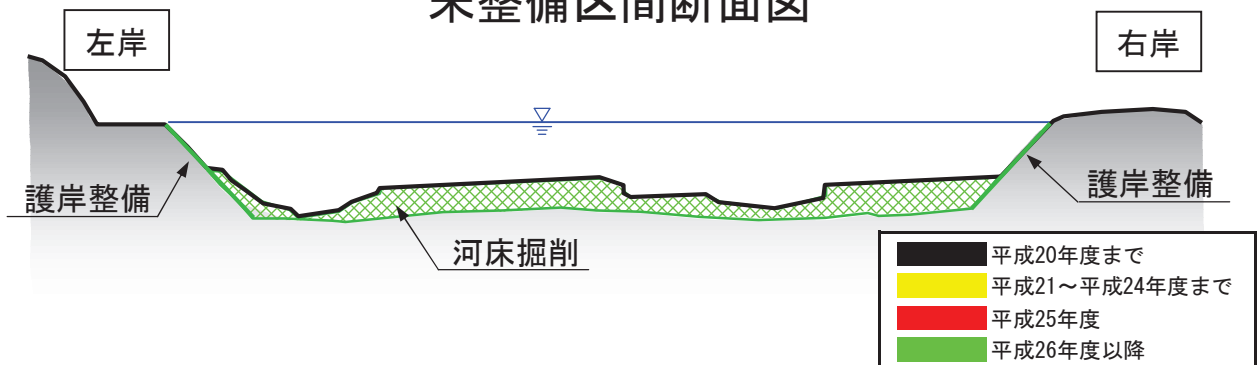


未整備区間(下村井堰)

②



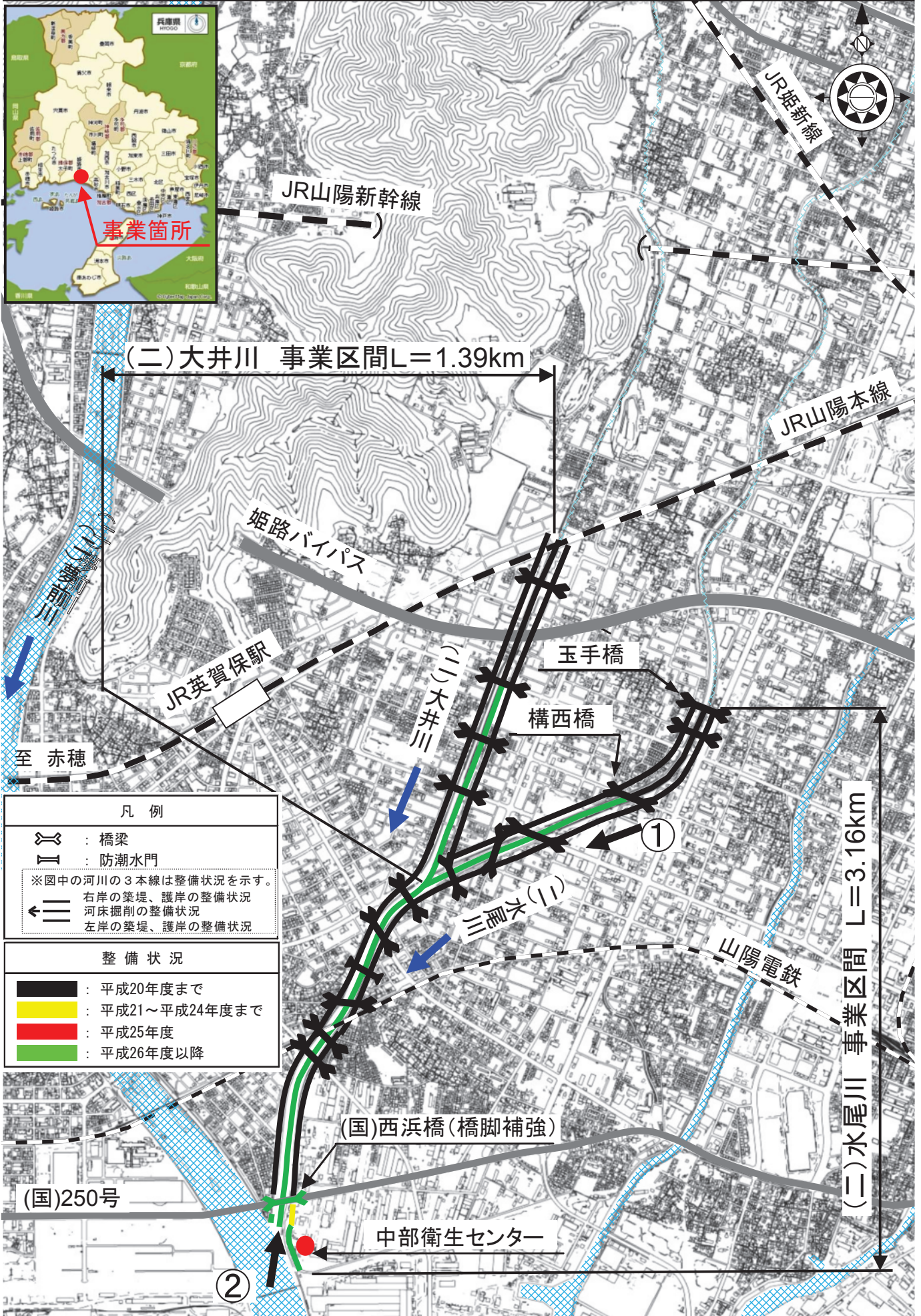
未整備区間断面図



河川整備計画策定報告（中間）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課 松本正利 (都市河川係長 山本良太郎)	内線	4408 (4417)	
事業種目	河川事業	新規評価年度	—		現計画	前回評価時点
事業名	二級河川夢前川水系 水尾川 地震・高潮対策事業	事業採択年度	S43	総事業費	109億円	109億円
		着工年度	S43	内用地補償費	26億円	26億円
		再評価年度	H10	完成予定年度	H27	H27
			H15 H20	進捗率 (内用補進捗率)	84% (91%)	82% (84%)
事業区間	姫路市飾磨区英賀～構					
所在地	姫路市			残事業費	17億円	19億円
事業の目的				事業内容		
<p>昭和40年9月の台風23号により、甚大な高潮被害が生じている。</p> <p>このため、高潮対策、及び高潮影響区間の河道整備を実施するとともに、流域対策・減災対策を併せて行うことにより、再度災害を防止し、地域住民の安全・安心を確保する。</p>				計画流量	現計画	前回(H20)
				整備延長 主要工種	前回から 変更なし	240m ³ /S (1/100) (夢前川合流点) 4,550m 築堤、掘削、護岸、 橋梁18橋、井堰1基
				〔負担割合 国1/2、県1/2〕		
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	①夢前川水系河川整備方針を平成25年7月に策定している。 【前回評価時点からの事業計画の変更概要】 変更なし					
進捗状況	①昭和43年度に着手し、河口の一部を残し築堤および護岸工事は完成している。 ②残る河口部の築堤・護岸の整備にあたり、姫路市中部衛生センターの移設工事を進めている。					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見及び 対応方針 (前回 再評価)	【審査会意見】 継続妥当			【対応方針】		
(1) 必要性	①これまで昭和39年9月台風20号及び昭和40年9月台風23号など、高潮による浸水被害を受けている。 ②姫路市南部市街地、学校、病院等を高潮及び洪水による浸水被害から守るため、護岸、掘削、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施している。 ③また、本区間の直上流部及び下流で合流する夢前川は1/100の治水安全度で過年度に整備済みであり、未整備区間である本区間の河積を確保することで、姫路市南部市街地の安全も確保されるため、継続的な整備を実施する必要がある。					
(2) 有効性 ・ 効率性 (執行環境状況)	①費用便益費 B/C=4.8 ②残事業は、護岸と河床掘削のみである。これらの整備にあたり、支障となる姫路市中部衛生センターの移設工事を進めており、事業の執行環境は整っている。					
(3) 環境適合性	①階段護岸を整備し、親水性の向上を図る。					
(4) 優先性	①築堤、護岸等の構造物は概成し、高潮に対する安全性はほぼ確保しているものの、残事業として護岸及び河床掘削があり、姫路市南部市街地を洪水による浸水被害から防御する当該事業の優先性は高い。					
河川整備計画 の策定状況	<p>【流域懇談会等の開催状況】</p> <p>①平成21年9月から合計4回の夢前川水系河川整備計画委員会を開催して当該計画を位置づけた河川整備計画(案)を作成しており、策定に向けて国と同意協議を行っている。</p> <p>【流域懇談会等の主な意見】</p> <p>①河川改修にあたり、水利用状況を十分調査した上で実施すべきである。 ②井堰が多く、高低差が大きいため、魚道などの整備を進めるべきである。 ③平坦な河床では夏場に水の流れがなくなるので、ある程度、水が流れるように配慮すべきである。</p>					
対応方針	早期に河川整備計画を策定することとし、策定までの間は現計画に基づき事業を継続実施する。					

地震・高潮対策事業(二)夢前川水系 水尾川・大井川



概成区間〔構西橋下流〕



未整備区間〔(国)西浜橋〕

